

令和 6 年 8 月 1 日

春日部市・草加市・越谷市・

八潮市・三郷市・吉川市・松伏町・

埼玉県・国土交通省関東地方整備局



「流域治水シンポジウム 2024」を開催します

～令和 5 年 6 月浸水被害を踏まえ、流域治水の自分事化を考える～

中川・綾瀬川流域では、令和 5 年 6 月の大雨（台風第 2 号）により甚大な浸水被害が発生しました。被害を受けて、国、県、6 市 1 町が連携して「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」を始動しています。

この度、「流域治水」について皆様と一緒に『自分事化』を考えることを目的として、シンポジウムを開催します。

1. 開催概要

日 時：令和 6 年 8 月 26 日（月） 14：00～17：00（13：00 開場）
場 所：埼玉県越谷市中央市民会館 1 階劇場（越谷市越ヶ谷四丁目 1 番 1 号）
主 催：春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町・
埼玉県・国土交通省関東地方整備局

主な内容：基調講演／大野 元裕（埼玉県知事）

『激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応』

キックオフ宣言（7 市町首長・埼玉県知事・関東地方整備局長）

『6 市 1 町の決意、「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」キックオフ宣言』

基調講演／井田 寛子氏（気象予報士・キャスター）

『近年の異常気象と気候変動』～激甚化する気象災害に備える～

基調講演／加藤 孝明教授（東京大学）

『流域治水をみんなで着実、確実に進めるために』

パネルディスカッション

『流域治水の「自分事化」を考える』

2. 詳細

別紙 1・2 をご確認ください。

参加および取材を希望される方は、事前に申し込みをお願いします。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 都庁記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 江戸川河川事務所

電話：04-7125-7311（代表）

メールアドレス：ktr-nakagawa_ayasegawa@gxb.mlit.go.jp

副所長 田所（内線：205）

計画課長 太田（内線：261）

埼玉県 県土整備部 河川砂防課

電話：048-830-5162

FAX：048-839-4865

副課長 大原

主幹 吉野

2024
8/26 月
14:00-17:00
[13:00 開場]

激甚化・頻発化する自然災害への備え

令和5年6月浸水被害を踏まえ、**流域治水の自分事化**を考える

流域治水 シンポジウム 2024

参加無料

春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町・埼玉県・国土交通省関東地方整備局

開催趣旨

中川・綾瀬川流域では、令和5年6月の大雨（台風第2号）により甚大な浸水被害が発生しました。被害を受けて、国、県、6市1町が連携して、早期に浸水被害の大幅な軽減を図るため、「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」をとりまとめ、さまざまな取組が始動しています。

この度、「流域治水」について少しでも多くの方に知っていただき、地域の皆様、各種団体の皆様と一緒に流域治水の『自分事化』を考えることを目的に、プロジェクトの各種取組の紹介やパネルディスカッションを行うシンポジウムを開催します。

流域治水の自分事化

流域治水の取組には、地域の皆様や企業など、より多くの関係者の参画が欠かせません。気候変動により今後も水災害の激甚化・頻発化が進むことを念頭に、地域の皆様や企業の方々が自らの水災害リスクを認識し、自分事と捉え、主体的な行動や取組が持続的に行われることが必要です。

●第1部：開催挨拶・基調講演

- 14:00 開催挨拶／岩崎 福久〔関東地方整備局長〕
- 14:05 概要説明／小池 聖彦〔関東地方整備局江戸川河川事務所長〕
『中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトについて』
- 14:15 基調講演／大野 元裕〔埼玉県知事〕
『激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応』
- 14:40 キックオフ宣言
『6市1町の決意、「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」キックオフ宣言』
《休憩 15:10～15:20》

●第2部：基調講演・パネルディスカッション

- 15:20 基調講演／井田 寛子氏〔気象予報士・キャスター〕
『近年の異常気象と気候変動』～激甚化する気象災害に備える～
- 15:35 基調講演／加藤 孝明教授〔東京大学〕
『流域治水をみんなで着実、確実に進めるために』
- 15:55 パネルディスカッション
『流域治水の「自分事化」を考える』
- 17:00 閉会挨拶／吉澤 隆〔埼玉県県土整備部長〕



登壇者プロフィール



基調講演

大野 元裕

埼玉県知事

2019年、埼玉県知事に就任（現在2期目）。埼玉県が直面する歴史的課題の一つ、「激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応」として、「流域治水」や「埼玉県版FEMA」の取組の一層の充実など、県全体の危機管理・災害対応力の底上げに取組む。



基調講演

ファシリテーター

加藤 孝明

東京大学生産技術研究所教授
東京大学社会科学研究所特任教授

専門分野は、都市計画、まちづくり、地域安全システム学、防災。防災性評価技術を社会に結びつける「まちづくり支援技術」の開発を行う一方、「防災【も】まちづくり」を提唱し、防災を主軸とする総合的なまちづくりを実践。

「国土交通省流域治水の自分事化検討委員会」、「埼玉県地震被害想定調査検討委員会委員」等多数歴任。



基調講演

パネリスト（気象予報士）

井田 寛子

気象予報士・キャスター

埼玉県春日部市生まれ。かすかべ親善大使。春日部市立豊春小・中学校、淑徳与野高等学校、筑波大学卒業。国連気候サミットへの参加をきっかけに気候変動問題に関心を持ち、学びや発信を続ける。2023年には東京大学大学院広域科学専攻修士課程修了。NHK・TBS等メディアを中心に活動。現在NPO気象キャスターネットワーク理事長・WWFジャパン顧問。



パネリスト（流域自治体（市））

大徳 昭人

越谷市建設部長

1988年、厚生経済部農政課に入庁後、建設部下水道建設課、建設総務課などに所属し、2014年に越谷・松伏水道企業団事務局施設課長、2018年に建設部道路総務課長など幅広い分野を経験し、2022年より現職。



パネリスト（地域住民）

花井 健三

元草加市八幡町会副会長

草加市在住。草加市役所を退職後、草加市コミュニティ協議会事務局長、八幡町会副会長を歴任。地域コミュニティにおいて綾瀬川放水路を散策しながらその役割を地域の方々に解説するなど流域治水に関わるまちづくり活動を精力的に実施。



パネリスト（地元企業）

片平 貢丈

ボラス株式会社
コミュニケーション部広報課長

2007年ボラテック株式会社入社、注文住宅の営業等を担当、2017年に国土交通省関東地方整備局建設部住宅整備課へ2年間出向し住宅行政を経験。2019年からボラス株式会社経営企画部秘書室で渉外活動に従事し、2022年よりコミュニケーション部広報課長として現在に至る。



パネリスト（河川管理者（県））

高野 工

埼玉県 総合治水事務所長

1996年4月埼玉県庁入庁、都市整備政策課副課長、河川砂防課副課長を経て2024年4月から現職。河川行政では、中川・綾瀬川流域の総合治水対策事業等に従事。「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」のとりまとめにあたっては国や流域市町との調整役として携わった。



概要説明 パネリスト（河川管理者（国））

小池 聖彦

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所長

1991年4月関東地方建設局入省。内閣府参事官補佐（風水害対策調整担当）、霞ヶ浦導水工事事務所長、関東地方整備局総括防災調整官などを経て、2024年4月から現職。

申し込み方法と期間

当日会場での参加をご希望の方は、以下に掲載している二次元コードより必要項目を入力の上、事前に申し込みをお願いします。

※申し込み期間／2024年7月26日（金）～8月22日（木）



フォーム申し込みの場合



メール申し込みの場合

- 会場参加の申し込みは定員になり次第締め切らせていただきます。
- 当日に会場の席に余裕がある場合は事前申し込みされていない方もご参加可能です。
- 申し込みについてのお問い合わせは、下記までお願いします。

お問い合わせ先・その他

シンポジウムについての詳細は、以下の二次元コードより江戸川河川事務所のホームページをご覧ください。

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所計画課シンポジウム担当

TEL：04-7125-7318（土・日・祝を除く10:00～17:00）

本シンポジウムは土木学会認定CPDプログラムです。（会場参加者のみ対象）

江戸川河川事務所HP



会場案内図



会場：越谷市中央市民会館 1階劇場 [越谷市越ヶ谷四丁目1番1号]

※駐車場（有料）の台数には限りがあります。できる限り公共交通機関をご利用の上お越しください。

Youtubeライブ配信

<https://youtube.com/live/Sl68JsKy8wc?feature=share>



報道関係者の皆様へ

■当日の取材申込み方法

取材を希望される方は、令和6年8月22日(木) 17:00までに電子メールにより事前登録をお願いいたします。

《電子メールによるお申し込み》

メール本文に、

- ① 貴社名
- ② 所属部署名
- ③ ご担当者の氏名(ふりがな)
- ④ ご同行者の氏名(ふりがな)
- ⑤ ご連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)
- ⑥ テレビカメラの有無(有の場合、台数)

を記載の上、ktr-nakagawa_ayasegawa@gxb.mlit.go.jp宛てにご送付ください。

■問合せ先(当日の取材に関すること)

国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所 田所、太田

電話: 04-7125-7311(代表)(内線: 205、261)

■取材にあたってのお願い

以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 報道関係者は、シンポジウムの円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。
- 当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、担当者の指示により会場へ入場をお願いします。
- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材はご遠慮下さい。
- 会場の座席にはテーブルはありません。PC等の使用は、シンポジウムの進行や他の参加者の迷惑にならない限り可能です。
- 当日、建物は他の利用者也使用していますので、他の利用者の迷惑にならないようご協力をお願いします。
- 取材に必要な電源は、各社(各自)にてご用意下さい。
- 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では着席の上、静粛に傍聴して下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度のある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 以下の症状がある方は入場をご遠慮いただきます。また、会場でのマスク着用は個人の判断でお願いします。
 - ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱がある方
 - ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方
 - ・その他、ご自身の体調に不安がある方

以上